

令和6年度 放課後等デイサービス自己評価の集計結果（公表）

事業所名	児童デイサービス たけのこ
------	---------------

		チェック項目	回答数	① はい	② どちらとも いえない	③ いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容または改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	1	1	3		②活動内容（体を動かす）によってはスペースが狭いが、パーティションなどで仕切りを作り、個別活動も出来るように工夫している。
	②	職員の配置数は適切であるか	5	1	3	1	職員の休日（週休）については、利用者の状況を考慮しながら配置人数や休日を設定している。	配置基準に基づいた職員数を配置している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	5	5			事業所内は全面バリアフリー化している。	
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクルに、広く職員が参画しているか	5	1	2	2		PDCAサイクルが定着していないと感じる為、アンケートを実施し、業務の見直しに努めていく。
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	4	1		保護者様からニーズを確認し、事業所の業務改善に繋げている。	
	⑥	自己評価表の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	5			①ホームページ等で公表している。	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5	2	3			年2回行われる苦情解第三委員会へ報告していく。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	5			①研修委員を中心に年間計画のもと現在課題と内容にあった研修を企画、実施している。	法人施設内外の研修を受講し実施している。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	5	5				アセスメントシートで必要な情報を取得。職員間で情報を共有している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	2	3			アセスメントに対する職員の理解にばらつきがあると感じる為、統一出来るように努めていく。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	3	2			
	⑫	活動プログラムが固定化されないよう工夫しているか	5	3	2			発達状況に合わせてステップアップできるようにしている。
	⑬	平日・休日・長期休暇に応じて、課題をきめ細かに設定して支援しているか	5	2	3		①休日・長期休等は課外活動を増やし、平日は出来ない活動を取り入れている。（公共施設の利用等）	季節感のある様々な活動を考え実施している。きめ細かにとまではいかないが別々に設定している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ個別支援計画を作成しているか	5	4	1			目標を統一、共有し、課題に向けた関わりをしている。
	⑮	支援開始前には職員間で打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	4	1			
	⑯	支援終了後には職員間で打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	3	2		①急ぎの連絡が必要の際は終了時に行っているが、基本的には業務終了時の打ち合わせは行わず、翌日朝の打ち合わせ時に確認をしている。	業務中にその日の利用状況を打ち合わせする事は難しいが、翌日に皆で話し合いをしている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	4	1			②正確な詳しい記録を心掛けているが正しいかどうかは判断できない時もある為、職員間で共通認識のもとに記録をとる事に努めていく。又、管理者は随時確認していく。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	5	5			ケースワークについては常時課題が発生時職員間で確認出来る対応している。	子どもの成長や新たな課題について職員間で検証している。
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	5	3	2				

関係機関や保護者との連携	㉔	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	5			相談支援事業所と連携し児童発達管理責任者が参加している。	
	㉕	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換・下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応・トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	5	4	1		家族との連絡を密にすることで事業所以外での情報共有もを行っている。 常に連携を働きかけ情報共有や連絡調整に努めている。	
	㉖	医療ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	4		4		現在対象の子どもの利用はない。	
	㉗	就学前に利用していた保育所や幼稚園・認定こども園・児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5	1	2	2	担当相談員からの相談も多く、相互の理解までには至っていない事もあるが、利用の際は関係機関と連携を図り情報共有をしている。	
	㉘	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容の情報を提供する等しているか	5	2	2	1	①相談支援事業所から情報提供の依頼があった際は情報提供を行っている。また、定期的に担当者会議等の出席依頼の際は都合のつく範囲で出席している。	
	㉙	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	1	3	1		
	㉚	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	5	1	3	1	①協議会主催の合同研修会への参加等担当職員以外も参加している。	自立支援協議会へは担当職員が参加している。
	㉛	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	4	1			共通理解までには至っていない事もあるが、連絡帳や送迎時に利用時の様子を伝え情報共有に努めている。
	㉜	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	5		4	1	事業所内及び系列3事業所で研修会を実施。情報を共有し支援に繋げている。	日々の様子からもう一歩踏み込んだ支援が必要では無いかと感じる事もあるが、統一支援出来るよう日々の情報綴りに努めている。
保護者への説明責任等	㉝	運営規程・支援の内容・利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	4	1			利用契約時説明を行っている。
	㉞	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	5				送迎対応時や個別支援計画作成の際確認している。
	㉟	子どもや保護者からの苦情・意見について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	4	1			
	㊱	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定・連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	5			①連絡帳や今年度開始したLINE等を活用しタイムリーに情報を発信している。	・定期的に会報を発行し、活動内容を発信している。 ・ぼんだ通信や日々の連絡帳を通じて細やかに発信出来ている。
	㊲	個人情報に十分注意しているか	5	5				職員共通の認識のもと十分注意して業務を進めている。
	㊳	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	5				
	㊴	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	5	1	2	2		
非常時等の対応	㊵	緊急時対応マニュアル・防犯マニュアル・感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5	4	1		①連絡帳や今年度開始したLINE等を活用しタイムリーに情報を発信している。	
	㊶	非常災害の発生に備え、定期的に避難・救出その他必要な訓練を行っているか	5	5			①同一建物内生活介護事業所と行動で訓練を実施し、災害時の協力体制の強化に繋げている。	年2回上半期・下半期で総合訓練を実施。※令和6年7月・12月で実施。
	㊷	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	4	1		①事業所内及び系列3事業所で研修会を実施。情報を共有し支援に繋げている。	
	㊸	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか	5	4	1		①事業所内及び系列3事業所で情報を共有し支援に繋げている。	
	㊹	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づき対応がされているか	5	3	2			利用契約時アセスメント実施し、書面を頂いている。
	㊺	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	3	1	1	①事業所内及び系列3事業所間で情報を共有し注意喚起に繋げている。	
評価全体の平均値			平均 回答数	平均 回答数	平均 回答数	平均 回答数		
			5.0	3.2	1.4	0.4		